



第2525回例会（17/18年度第8回）

平成29年9月1日（金）

■ 点鐘並びに開会宣言 ～黒川 俊一 会長

■ 斉唱 ～ソングリーダー 三木 博之 会員

国歌「君が代」 Rソング「奉仕の理想」

■ お客様紹介 ～親睦活動委員会 委員

前島 和樹 様（ミューザ川崎シンフォニーホール  
広報営業課長 本日のゲストスピーカー）

前田 明子 様（ミューザ川崎シンフォニーホール  
広報営業主任 本日のゲストスピーカー）

■ 会長報告 ～黒川 俊一 会長

①地区より 2020-22 年度 R I 理事選出の為の指名委員会  
委員候補者推薦のお願いの案内が参っております。

②ローターアクト主催「アクトの日」開催の案内が参って  
お

ります。日時9月10日（日）横浜セネックス大会議室

③米山梅吉記念館より、館報30号が届いております。

④クラブ社会奉仕委員長会議開催の案内が参っております。

日時9月22日（金）場所メモワールプラザソシア21

⑤地区大会登録並びに R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会登録  
等の案内が参っております。

⑥地区大会展示における「ロータークラブ奉仕活動放映」  
への参加クラブ募集の案内が参っております。

⑦9月のローターレート 1ドル=109円

⑧いわき平東ロータークラブより創立 50 周年記念誌が  
届

いております。

⑨第 52 回高津地区親子運動会開催に伴う楯及び賞状の寄  
贈

についての依頼が参っております。

■ 退会のご挨拶



～ 佐藤 幸雄 会員

本年5月で84歳になりました。生涯現役で皆様方にお役  
に立ちたいと思っておりましたが、この先の平均余命を考  
えますと、

このへんで別の道を考え退会をさせていただきます。

長い間ありがとうございました。

■ 幹事報告 ～上松義典幹事会報裏面をご覧ください。■

各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2525回	70名	68名	60名	8名	88.2%
前々回修正		メキップ 0名		10名	85.7%

□ 親睦活動委員会 ～藤田 健司 委員

本日、9月1日親睦サロンを私が居りますフィオーレの森  
で、開催を致しますので奮って参加の程宜しくお願い致し  
ます。酒奉行もよろしくお願ひします。お待ちしております。

□ 国際奉仕委員会 ～稲毛 俊英委員長

先日、来年6月に行われるトロント世界大会のアンケート  
を出させていただきましたが、その結果2名の参加申し込  
みがありました。今後は、個人手配でお願いいたします。

□ 雑誌委員会 ～鈴木 敬一委員長

今月はローターの友月間でございます。

横組P12-10 2017-2018 ローターの友新企画

横組P7 ローターの友活用方法

横組P10～11 ローターの友事務所への質問

横組P53 投稿の内容

縦組P13 シキホールセントラル

原田淑人様の記事今後、当クラブで卓話をしていた  
できます。

■ 卓話 「ひきこもりの子ども・障害者の方々をミュージア川崎のコンサートへ」～前島 和樹 様、前田 明子 様  
はじめまして、ミュージア川崎シンフォニーホール広報営業課の前島と申します。



今日、貴重な時間をミュージア川崎シンフォニーホールの為にとっていただき誠にありがとうございます。ミュージア川崎は 2004 年に音楽のまち・かわさきのランドマークとして誕生し、音楽のまちかわさきのランドマークとして活動していますが、今年、不登校の子、又、障害のある子たちに音楽を通して何か支援をしたいという事で企画立案をしました。その中の一つを今日、前田からご紹介をさせていただきます。よろしくお祈りします。

ミュージア川崎シンフォニーホールで広報を担当しております前田と申します。本日はこのような素晴らしい場所でお話しさせていただく機会をいただきまして、どうもありがとうございます。



音楽のまち・かわさきというキャッチフレーズが、13 年経ちまして、ミュージアを始めとした様々な活動が認められて、今、川崎と言えば音楽のまちだねとミュージアに来場される方も大変よく認知して下さっていると思います。ミュージアかわさきの名前の由来ですが、ミュージアは「ミュージック」と人が集うの意味の「座」の言葉を合わせて名付けられています。

ミュージア川崎シンフォニーホールは 1997 席の本格的なコンサートホールです。ステージの周りを客席が 360 度取り囲む形状をしており、ヴィンヤード形式と申しまして、真ん中のステージを、お客様が取り囲むようになっております。この形の良さは、演奏家の皆さんを聴衆が取り囲み、とてもステージと距離が近く感じられる、それからお互いに鑑賞しているお客様同士の顔がよく見えるという事で、非常にコンサートホールとしても一体感がある、単にクラシックコンサートを楽しむという事だけではなく、その場に集い鑑賞するという事が一つの大きな体験として音楽経験を豊かにしているという評価をいただいております。ちなみにこのヴィンヤード形式のホールは、サントリーホール、札幌の Kitara ホール、そしてミュージア川崎と日本に三つしかございません。音響も素晴らしいと国際的にも大変大きな評価をいただいております。

ウィーンフィルやベルリンフィルなど世界で冠たる一流のオーケストラを呼ぶことも毎年行っておりますが、私どもは、単に素晴らしいクラシック音楽を、音楽愛好家の方々だけに提供するだけではなく、音楽を通していかに川

崎市の皆さん、川崎市という町を豊かにしていくかという事に日々取り組んでおります。

特に取り組んでおりますのが、コミュニティープログラムで、コミュニティーに対してどういう事ができるか、0 歳の赤ちゃんからお年寄り、なかなかコンサートにいらっしやれない方に対しても、音楽を通じて音楽を届けたいという思いでたくさんの事業を行っております。一例として 0 歳児からのコンサートというのは、本当にどなたでもベビーカーを押して来ていただいて、鑑賞するというよりも音楽を体験して頂くというようなことをやっております。

また、毎月、ランチタイムコンサート、ナイトタイムコンサートを行っております。気軽に足を運んでいただけるように平日の昼間に 500 円で、これから活躍していく若手ミュージシャンを中心に、40 分間の短い時間で、気負わず、気軽にご覧いただけるラインナップとなっております。

今回、ロータリークラブの皆様へのご提案ですが、学校になかなか来られない不登校の子ども達や、長期欠席の子ども達、これが今、川崎市の中に約 3200 人いると言われております。そうした子ども達が家庭の中だけでなく社会から孤立しないように、気軽に楽しめるプログラムで音楽鑑賞の機会を提供し、外出の機会を作り、たくさんの人と同じ経験をすることで、心のつながりですとか共感を得ていただきたい。それからご家族の方と一緒に出かけいただき、同じ体験をすることで、家庭でも会話を育むきっかけづくりができればと考えております。コンサートは、一つのきっかけだと思っております。そうした子ども達を、力を出すという事に私たちはコンサートのお席を用意するという事で、ご支援ができればという事を考えております。コンサートに行ってはいけないと思っている親御さんが多くいらっしやいますが、「どうぞお席をご用意します。ぜひ、いらしてください」ということで、ランチタイムコンサートのような、割と気軽に聞けるコンサートに子ども達を呼んで聞いていただくような機会を作れたらと考えております。その子ども達を、どうやって呼びかけようかということにつきましては、川崎市教育委員会ですとか総合教育センターとかにご協力を頂けるように、現在、調整をしているところでして、それができたら、「ミュージア川崎シンフォニーホールの中に、皆さんの為にお席を用意しましたから、ぜひお越しください」と、私どもとしてはやっていきたいと考えております。

短い時間ではございましたけれども、ミュージア川崎シンフォニーホールの紹介と、シートのご支援についてお話しさせていただきました。

どうもありがとうございました。